

日本地球化学会 2008 年度 第 2 回評議員会 議事録

本議事録は、2008 年 6 月 11 日にメールで発議した第 2 回評議員会の内容を中心としているが、本年度第 1 回評議員会(2 月 16 日)後、第 2 回評議員会終了(7 月 30 日、以下日付については、(7.30)のように括弧内の数字で示す)までに、電子メールにて実施された評議員間での情報交換と審議の内容も含む。

電子メール送信先：蒲生俊敬会長，海老原充副会長，石橋純一郎，小畑元，佐野有司，鈴木勝彦，角皆潤，平田岳史，益田晴恵，南雅代(以上幹事)，天川裕史，岩森光，鍵裕之，北逸郎，瀧上豊，中塚武，奈良岡浩，野尻幸宏，日高洋，松尾基之，松本拓也，三村耕一，柳沢文孝，塚本 尚義(以上評議員)

1. 2007 年度第 4 回評議員会議事録の承認

小畑幹事から 2007 年度第 4 回評議員会議事録が提案され(2.25)，承認された(3.31)。

2. 2008 年度第 1 回評議員会議事録の承認

小畑幹事から 2008 年度第 1 回評議員会議事録が提案され(4.15)，承認された(5.7)。

3. 報告事項

(1) 庶務 (小畑幹事)：

【科学研究費補助金】(日本学術振興会)平成 20 年科学研究費補助金研究成果公開促進費「定期刊行物」(GJ)交付内定 (4.11)・交付申請 (5.8) (4,200 千円)。【研究助成等】2008 年第 1 回鳥居基金助成，採択：竹谷裕 (TE-58)，交付手続開始 (条件付採択の 2 件は辞退) (4.26)。【後援・共催等】(協賛) IUMRS アジア国際会議 2008(Materials Research Society of Japan 主催)【その他】Web 広告の追加募集 (2.20)；故半田元会長への供花(3.16)；「地球化学」への広告追加分受付 (3.26)；(株)国際文献印刷社と 2008 年度業務委託契約(4.16)；GJ 賞楯製作(5.1)【幹事会】2008 年 5 月 31 日 13:00～18:00 (東京大学理学部化学東館 0202 号室) 第 2 回評議員会の議事内容について整理した。(出席：蒲生・海老原・石橋・小畑・佐野・鈴木・角皆・平田・益田・南の各幹事)

(2) 会計 (南幹事, 6.11)：

2008 年 1-5 月までの会費収入と主な支出について報告があった。

(3) 会員 (角皆会員幹事, 6.11)：

2008 年 2-4 月の会員異動について報告があった。

【入会】

(2 月)

一般会員

9282475	佐川 拓也 ｶｶﾞﾘﾀｸヤ 高知大学海洋コア総合研究センター
9282511	向井 浩 ﾏｶｲ ﾋﾚｼ

- 京都教育大学教育学部理学科
- 9282509 村上 雅紀 ムカミ マサキ
東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻
- 9282510 清水 健二 シズヰ ケンジ
独立行政法人海洋研究開発機構地球内部変動研究センター
学生会員 (学生パック)
- 9282513 古川 善博 フルカワ ヨシヒロ
東北大学大学院理学研究科地学専攻地球惑星物質科学科
- (3月)
- 一般会員
- 9282506 PINTI, DANIELEL
Universite du Quebec a Montreal Sciences de la Terre et de l'Atmosphere
- 9282517 穂刈 利之 ホカリ トシユキ
清水建設株式会社技術研究所
学生会員 (学生パック)
- 9282514 中川 裕介 ナカガワ ユウスケ
京都大学大学院理学研究科化学専攻 水圏環境分析化学研究室宗林教授
- (4月)
- 一般会員
- 9282516 上野 雄一郎 ウエノ ユウイチロウ
東京工業大学グローバルエッジ研究院
- 9282518 中村 謙太郎 ナカムラ ケンタロウ
独立行政法人海洋研究開発機構地球内部変動研究センター 地球内部試料
データ分析解析研究プログラム
学生会員 (学生パック)
- 9282515 上野 振一郎 ウエノ シンイチロウ
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 星野研究室
- 9282520 三好 陽子 ミヨシ ヨウコ
九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 無機生物圏地球化学研究室
- 9282521 澤野 真規 サキノ マキ
北海道大学大学院環境科学院地球圏科学専攻 環境地球化学研究室 (河村公
隆教授)
- 9282522 田中 浩史 タナカ ヒロシ
名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻

【退会】

(2月)

一般正会員

7280100	平林 順一
学生正会員	
8281878	寺島 聡美
9282397	武田 匡樹
9282398	中尾 俊夫
9282399	竹内 ふみ
9282406	岡崎 寛大
9282416	深澤 真
9282417	内山 嘉子
9282421	若林 貴弘
9282432	徳竹 大地
9282433	小林 紗由美

(3月)

シニア正会員

0280091	半田 暢彦	2008/3/15 逝去
---------	-------	--------------

一般正会員

1282069	藤谷 直樹
6282309	JO, HYUN-JA
9282454	沢 康正

学生正会員

9282352	井上 綾
---------	------

(4月)

シニア正会員

9281202	佐藤 キエ子
---------	--------

一般正会員

0280206	亀井 伸一
---------	-------

学生正会員

9282439	任 忠完
---------	------

【変更】

(3月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
1282263	若木 重行	学生正会員	一般正会員
9282331	早津 岳宏	学生正会員	一般正会員
9282350	高橋 貴文	学生正会員	一般正会員

(4月)

0282282	野口 拓郎	学生正会員	一般正会員
---------	-------	-------	-------

1282285	白井 直樹	学生正会員	一般正会員
3282214	玉置 美奈子	学生正会員	一般正会員
6282332	入澤 啓太	学生正会員	一般正会員
7282324	関本 俊	学生正会員	一般正会員
9282401	中村 真仁	学生正会員	一般正会員

2008年4月30日現在の会員数

	正会員	(一般)	(学生) 通常	(学生) 学生パック	(シニア)	賛助会員	名誉会員	計	(海外会員)
2008/1/31	918	(746)	(81)	(34)	(57)	11	9	938	(37)
入会		+8		+6					+1
退会		-5	-12		-2				-1
種別変更		+9	-9						
自動移行			+0	-0					
海外へ移住									+3
海外より帰国									-1
2008/4/30	913	(758)	(60)	(40)	(55)	11	9	933	(39)

(4) 編集：

- a. GJ(佐野幹事, 6.11)：1月より5月15日までの編集状況について説明があった。47の論文の投稿があり，受理2報，却下11報，残りは査読中との報告があった。
- b. 地球化学(益田幹事, 6.11)：2008年度の編集状況について。2008年度1-5月に16編の原著論文を受付，うち8編が受理，7編が審査中，1編が却下となっている。総説は3編を受付，うち3編を受理した。その他として，追悼記事を2編受付，受理した。また，投稿時の問題について編集委員会で議論し，「編集委員長からのお願い」を地球化学ニュース，メーリングリスト，日本地球化学会のホームページに掲載した。
- c. ニュース(石橋幹事, 6.11)：ニュースレターNo.192の発行(3.20)，No.193を編集中との報告があった。また，ニュース電子メール版，2008No.21-68まで48件の発信を行ったとの報告があった。
- d. 広報(鈴木幹事, 6.11)：第2回広報委員会(東大地震研)についての報告があった(小木曾，折橋，橘，山本，鈴木各委員)。広報委員会として以下の活動を行うこととなった。年会でのプレス発表，ホームページの充実，連合大会，ゴールドシュミット国際会議での広報強化，アジア地区への広報，パンフレットの改訂など。

(5) 行事：

- a. 2008年日本地球惑星科学連合大会(平田幹事, 6.11)：日本地球惑星科学連合2008大会(5.25-30，幕張メッセ国際会議場)についての報告があった。地球化学会が共催するセッションは，「固体地球化学・惑星化学セッション」(C104：代表コンビーナ下田会員)，「非質量依存同位体効果：新しい同位体地球化学に向けて」(C203：代表コンビーナ角皆会員)の2件。パンフレ

ットデスクを設置，日本地球化学会のパンフレットやショートコースのパンフレットを配布した。

- b. 2008年ゴールドシュミット国際会議(平田幹事, 6.11): 2008年ゴールドシュミット国際会議(7.13-18, カナダ・バンクーバー)についての途中経過の報告。学生旅費援助の目的でUS \$ 3000相当を共催金として支出した。日本地球化学会のパンフレットを会議参加者バッグに入れ配布するとともに，Exhibition ブースを設置する。GJ賞の授賞式をプレナリーセッションで行う予定。日本地球化学会会員に対する登録料の割引等の措置はないこととなった。なお，2009年はスイス・ダボスで6.22-26に開催予定。
- c. 2008年日本地球化学会年会準備状況(松尾評議員, 6.11): 2008年の日本地球化学会第55回年会は，東京大学駒場キャンパスにおいて開催予定(2008年9.17-19)。組織委員長(代表者)は松尾基之会員，実行委員長は野津憲治会員。セッション名，コンビーナ名，セッションの簡単な説明がホームページ上で発表(5.19)。講演申し込みと要旨提出を同日に行う(7.14)。
- d. 第3回ショートコース(平田幹事, 6.11): 日本地球化学会年会にあわせ，会期前日(9.16)に第3回ショートコースを開催予定。ホームページを開設し，受付を開始。プログラムについて説明があった。定員50名，参加費は3000円(日本地球化学会会員は学会から2000円の補助有)。

(6) 各種委員会：

- a. 鳥居基金選考委員会(野津委員長より提案, 3.11): 2008年度第1回鳥居基金に6件の申請(海外渡航4件，国内研究集会2件)があり，「2008年度地球化学若手シンポジウム(竹谷裕会員)」を国内研究集会として採択した。また，国内研究集会1件，海外渡航1件は条件付採択(他の助成金が得られた場合は辞退する)とした。
- b. 広報委員会(蒲生会長より報告, 4.2): 広報委員会の活動をより推進するため，下田玄会員及び松本拓也会員が新たに広報委員となった。
- c. 日本地球惑星連合各種委員会の活動状況について(6.11): 国際対応委員会について，佐野評議員からアジアオセアニア地球科学会議(AOGS)を2010年に日本に誘致しているなど現状についての報告があった。教育問題検討委員会について，瀧上評議員から国際地学オリンピック日本委員会の現状などについて説明があった。

(7) 連合関係：

- a. 日本地球惑星連合第7回(拡大)評議員会報告(6.11): 第7回(拡大)評議員会に日本地球化学会から，天川評議員，鍵評議員，野尻評議員，岩森評議員が出席。連合の法人化について意見交換が行われた。
- b. 日本化学連合関連(6.11): 平田幹事から第1回日本化学連合シンポジウム「次世代の化学を担う人材」について報告があった。また，蒲生会長から平成20年度第1回理事会・評議会合同会議についての報告があった。

(8) IAGC 関連(海老原副会長, 6.11)：

IAGC 対応小委員会の2008年度の活動について報告があった。また，IAGCのcouncilに益田評議員が推薦されることになったとの報告があった。

(9) 「地球と宇宙の化学事典」について(蒲生会長, 6.11)

「地球惑星化学の事典(仮題)」(朝倉書店)の編集・出版計画について蒲生会長より経過報告があった。書名は「地球と宇宙の化学事典」とすることとし，編集委員会の共同委員長を蒲生会長，海老原副会長で引き受けることとした。

(10) その他

蒲生会長より、平成 20 年度科学研究費補助金研究成果報告促進費「定期刊行物」の交付と入札について報告があった(6.11)。

4. 審議事項

- (1) 会員の異動について(角皆幹事)：2, 3, 4月の入退会が電子メールで提案され(3.4, 4.10, 5.21), それぞれ承認された(3.31, 5.7, 6.11)。また、3月末に届いた退会希望申請については退会を認めることが承認された(5.7.)。
- (2) 2008年度学会賞等選考委員会(坂本委員長)：GJ賞最終候補「M. Hamada and T. Fujii. "H₂O-rich island arc low-K tholeiite magma inferred from Ca-rich plagioclase-melt inclusion equilibria." *Geochem. J.*, Vol. 41(6), 437-461 (2007).」が選考委員会より提案され(2.23), 受賞者として承認された(3.31)。また、柴田賞候補2名, 学会賞候補2名, 奨励賞候補6名について委員会が選考を行い, 最終候補者が提案された(5.12)。柴田賞を石渡良志会員に, 日本地球化学会賞を海老原充会員に, 日本地球化学会奨励賞を斉藤拓也会員, 谷水雅治会員, 平野直人会員に授与することが承認された(5.27)。
- (3) 2007 年度決算について(南幹事, 6.11)：小畑前会計幹事から 2007 年度決算について報告があった。2007 年度は, 2006 年度に比べ赤字を圧縮できたが, 単年度では 54 万円の赤字となった。GJ 出版助成金額は今後もさらに減少すると予想されるため, GJ 電子化を含めた対応策を実施していく必要があるとの報告があった。この内容について審議が行われた。
- (4) GJ の冊子体を受け取らない会員について(小畑幹事)：2007 年度総会において, 希望する会員には GJ は電子体のみを渡し, 冊子体を送付しないシステムを設けることが承認された。このシステム構築を進める具体的な手順が提案され(6.11), 承認された(7.30)。

【今後の予定】

2008 年第 3 回幹事会：9 月 6 日(土) 東京大学海洋研究所 13:00 から

2008 年第 3 回評議員会：9 月 16 日(火) 東京大学・駒場キャンパス 13:00 から

2008 年日本地球化学会総会：9 月 18 日(木) 東京大学・教養学部